
Switch

夏目

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Switch

【Nコード】

N6724B

【作者名】

夏目

【あらすじ】

確かに聞こえた音の正体何かが変わる時

「ちょっと！それあたしの！」

部屋に入るなり声を上げる私。

「いいじゃない。アンタがつけるよりアタシの方が似合うでしょ。」
そう言って鏡越しに私を見上げるのは原田淳。
れっきとした男だ。

—— いや、のハズだった。

「確かに似合う……ってそういう問題じゃない！」
持ってきたカップを机にドンツと置き、

「あのねえ、これでも年頃の娘の部屋なんだから勝手に物色しないで！」

その手から自分のリップを奪い返す。

「あつ、もう……乱暴なんだから。」

唇を尖らせる姿は悔しいことに女のあたしより可愛い。

—— 出逢いはネットの恋愛相談。

同い年の女性だと思ってたのに、

待ち合わせに現れたのは少し線は細いが、紛れも無い男。

啞然とする私を前に

「あたしがジユン。よろしくね♪」

と、キレイな笑顔とお姉え言葉でのたまった。

一瞬でもカッコイイと思った自分に眩暈がした。

でも、ホントいい奴。気が合うし、今では一番の親友……のハズだ。

「どうしたの？」

ボンヤリしていた私を、呆れたように覗き込むジユン。

ドキッ

不意打ちの距離に心臓が跳ねる。
ヤバイヤバイ…。

最近よく惑わされる。

これも暫らくラブと離れた生活してる所為かしら？

「何赤くなってるの？さてはアタシにトキメいたんでしょ。」

ニヤリと笑うジュン。

「な、何いってんだかつ！」

慌ててカップを奪って口をつける。

熱い…。

猫舌にはまだ早過ぎた。

舌がヒリヒリする。

「アハハ、バカねえ。冗談よ。」

笑いながら優しく頬を摘むジュン。

黙り込む私。

スキカモシレナイ

そう言ったら貴方はどうする？

ジッとジュンの顔を見る。

きつと呆気ないほど簡単にこの関係は終わるだろう。

ジャア、イツソ終ワラセル？

不意に重なる唇

——気が付いたときには離れていた。

「アンタと居ると、男で居るのも悪くないって思っわ。」

いつものお姉え言葉。
だけど、

パチンッ

その時、

頭の奥で音が響いた。

そして私は、それを聴きながら、

何かが終わってしまったような、

何かが新しく始まるような…

そんな気がした。

相変わらず舌がヒリヒリする。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6724b/>

Switch

2011年1月27日00時38分発行